

平成29年4月13日

都内私立中学高等学校
校 長
国語科教諭殿
関係教職員

一般財団法人東京私立中学高等学校協会
会 長 近藤 彰 郎
東京私学教育研究所所長 須藤 勉
文系教科研究会委員長 畑澤 正一
(共催：公益財団法人東京私学財団)

文系教科研究会（国語）「講演会」のご案内
——『更級日記』から照射する『源氏物語』——
～ 暗記だけでは終わらない古典教育をめざして ～

平成29年度文系教科研究会（国語）第1回「講演会」のご案内をいたします。

今回は、講師に早稲田大学教育・総合科学学術院教授の福家俊幸先生をお迎えし、標記の演題にてご講演いただきます。

福家先生は『紫式部日記』を始めとする王朝女流日記文学のご研究を専門とされ、近年では、例えば、かの冒頭の「あづま路の道の果てよりも…」という表現に、孝標女の候名「常陸」がさりげなく重ねられていると看破するほか、随所で従来の解釈を刷新する高著『更級日記全注釈』を世に問われるなど、こんにちの学会を実質的に牽引しておいでの方の平安文学研究者の一人です。先生はまた、かつて高校の教壇に立たれた経験をお持ちであり、現在は国語教科書の編集委員を務めてもいらっしゃいます。このたびのご講演でも、私学の国語教育、とりわけ古典教育について、多くの示唆や刺戟を私たちにお与えくださるものと思います。

以下は、福家先生ご自身から頂戴したメッセージです。

特に大学受験では古典は暗記科目と受け止められていて、そのこと自体、否定すべくもありませんが、ただそのことで古典が不人気科目になっていることも確かだろうと思われます。本講演では、『更級日記』に記された『源氏物語』を読み解くことを中心に、暗記だけにはとどまらない、作品や文学史の立体的な理解の方途を考えたいと思います。

二年ぶりの古典系の講演会であり、何よりも高・大の教育を架橋する視座をお持ちの福家先生のお話を聴くことができる貴重な機会です。校務多忙とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 平成29年6月9日（金）18：00～20：00 ※受付開始17：30より
2. 会 場 主婦会館プラザエフ 9階「スズラン」
千代田区六番町15 TEL 03-3265-8111 JR・地下鉄「四ツ谷」駅前
※案内図をご参照ください。
3. 講 師 早稲田大学教育・総合科学学術院 教授 福家 俊幸 先生

【プロフィール】

1962年香川県生まれ。早稲田大学教育・総合科学学術院教授。博士（文学）。早稲田大学大学院博士課程単位取得。早稲田大学高等学院教諭、国士舘大学文学部助教授、早稲田大学教育・総合科学学術院准

教授を経て、2008年より現職。著書に『紫式部日記の表現世界と方法』（武蔵野書院・2006年）、『更級日記全注釈』（角川学芸出版、2015年）、共編著に『紫式部日記の新研究』（新典社、2008年）、『王朝女流日記を考える』（武蔵野書院、2011年）、『更級日記の新世界』（武蔵野書院、2016年）など。三省堂国語教科書編集委員。

4. 参加費 **無料**（会員各校の拠出金と（公財）東京都私学財団からの補助金で運営しております）
 5. 定員 **80名**（申し込み順 ⇒ 定員になり次第締め切ります）
 6. 運営委員 金井 利浩（中央大学附属中学校・高等学校）
 7. 申込方法 **6月5日（月）**までに下記宛 Web もしくは FAX にてお申し込みください。
 URL : <http://k.tokyoshigaku.com>

東京私学教育研究所	検索
-----------	----

東京私学教育研究所 文系教科研究会（国語） 担当：岡沢・溝口
 TEL 03-3263-0544 **FAX 03-3263-0560**

【案内図】



切り取らずにそのままFAXしてください。送り状は不要です。

文系教科研究会（国語）「講演会」参加申込書 [6月9日（金）実施]

学 校 名	氏 名 (ふりがな)

上記の通り参加申し込みいたします。

東京私学教育研究所 御中

平成29年 月 日

校 長 ⑩

※FAX受理、受付完了等の連絡は省略いたします。（本申込書をお送りいただいた時点で受付完了です）
 申込確認が必要な方は、下記にご記入ください。後日、申込書受理書をFAXでお送りします。

・希望する

理由等	FAX番号:
-----	--------